929577（0）

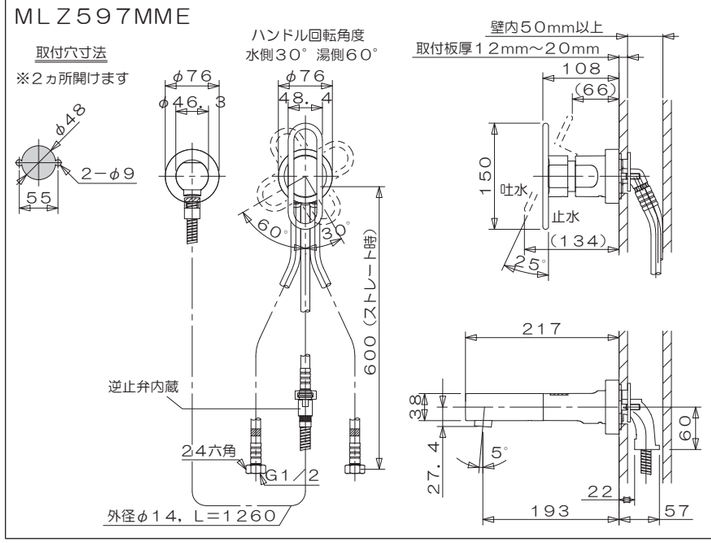
施 工 説 明 書

壁付きシングルレバー湯水混合水栓（節湯）
- •ＭＬＺ５９７ＭＭＥシリーズ
- •ＭＬＺ５９７ＭＭＤＡＨＥ（寒冷地形）シリーズ

※保証書にお取付店名、お取付日を必ずご記入ください。また、この取扱･施工説明書は直接お客様に手渡してください。

外観寸法図

ＭＬＺ５９７ＭＭＥ



使用条件と取り付け前のご注意

給水・給湯圧力	最低必要圧力	0.15ＭＰａ
	最高圧力	0.75ＭＰａ（静水圧）
	適正圧力	0.2～0.3ＭＰａ
推奨給湯温度		60℃
使用可能水質		水道水及び 飲用可能な井戸水（※）
用途		一般住宅用

- ●給水圧力が0．75ＭＰａを超える場合は、市販の減圧弁を設置して適性圧力（0．2～0．3ＭＰａ）に減圧して下さい。ウォーターハンマーや流水音が低減します。
- ●給水圧力は給湯圧力と同等もしくは高く設定してください。
- ●誤作動などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- ●高温でのご使用は水栓金具の寿命を短くし破損や水漏れの原因となります。
- ●給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いて下さい。
- ●湯・水を逆配管しないで下さい。やけどの恐れがあります。
- ●給湯に蒸気を使用しないで下さい。やけどの恐れがあります。
- ●水栓取り付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流して下さい。漏水により、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

（※）飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

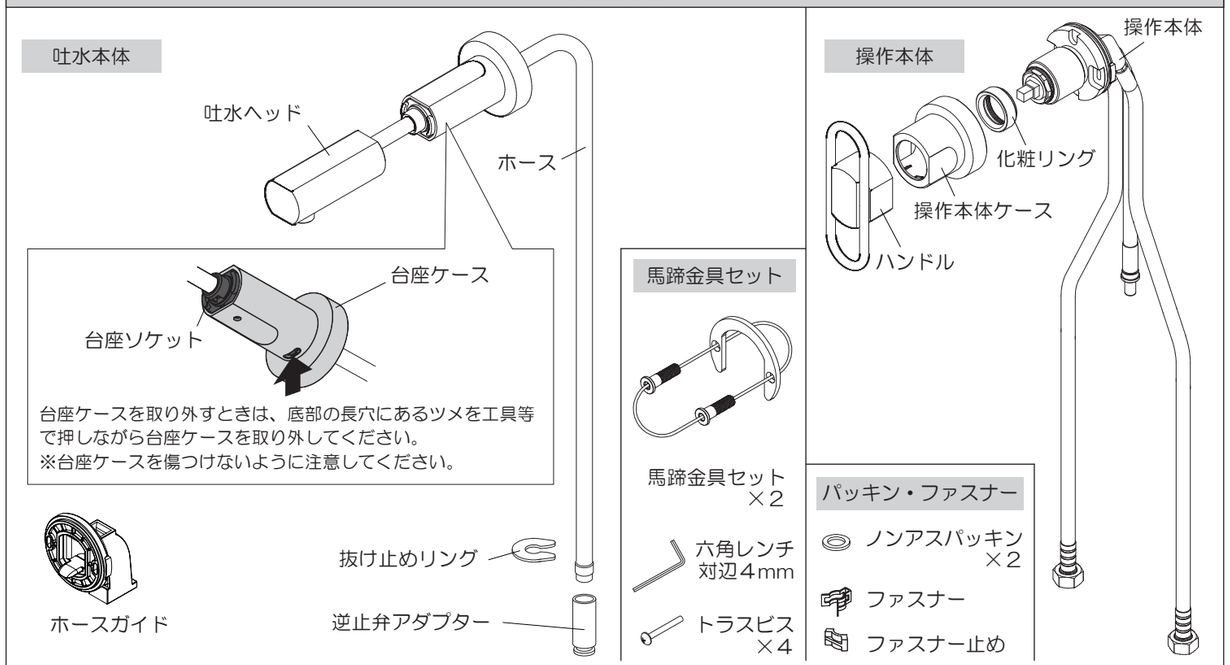
施 工 手 順



湯側・水側の配管に止水栓（別売品）を取り付けます。
※流量調節や保守点検のため、必ず取り付けてください。
※止水栓は固定された配管に取り付けてください。

水栓本体についても、取り付け順にしたがって確実にお取り付け下さい。取り付け後は本管を開き、締め付け各部からの漏れの無いことを確認し、実用テストを必ず実施して下さい。

製品内容



水栓の取り付け

※壁面への穴開けが完了してから本作業を行ってください。
※穴開け方法は穴開用型紙に記載しております。

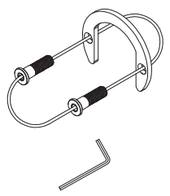
本施工説明書内でお守りいただく内容を下の記号で区分し、説明しています。安全のために必ずお守りください。

⚠ **注意**　この表示は、「障害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

❗ **強制**　この表示は、「必ず実行していただく」内容です。

施工動画はこちら

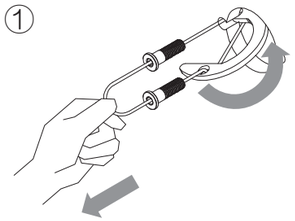
馬蹄金具セットの取り付け方　※操作本体・吐水本体の両方に使用します。



馬蹄金具セット ×2
六角レンチ･対辺4mm
を使用します。

⚠ 締め込みすぎに注意してください。
部品が破損する恐れがあります。

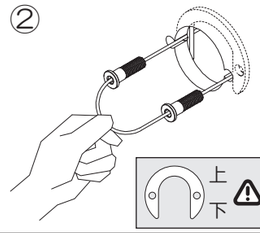
①



コの字の端から穴に差し入れ、馬蹄金具を壁裏に密着させます。

※紐を強く引っ張りすぎると千切れる恐れがあります。

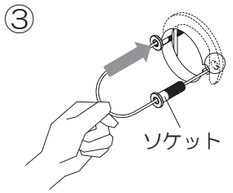
②



壁面にあけた穴の小さい方と馬蹄金具のねじ穴の位置が合うように調整します。

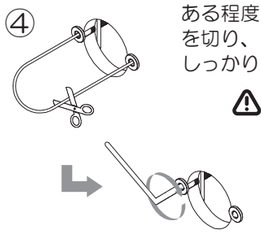
上 下 ⚠ 馬蹄金具の上下に注意してください。

③



ソケットを壁裏の馬蹄金具左右のビス穴に手で締め込み、仮止めします。
この時、確実にソケットがねじに嵌合していることを確認してください。

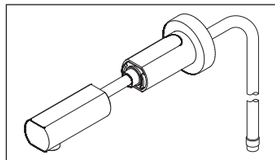
④



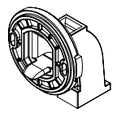
ある程度手で締め込めたら紐を切り、付属の六角レンチでしっかり締め込んでください。

⚠ ガタツキがないようしっかりと締め込んでください。
水栓本体が傾いたり漏水のおそれがあります。

吐水本体の取り付け方　⚠ 取付穴の左に施工します



吐水本体



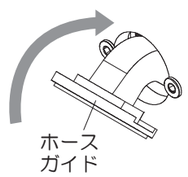
ホースガイド



トラスビス ×2

を使用します。

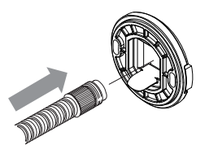
①



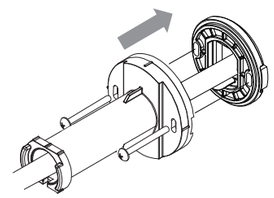
ホースガイドを取り付け穴に差し込みます。

※ビス止めはまだ行わないでください。

②

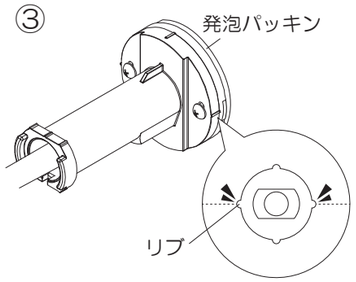


ホースガイド中央の穴にホースを入れます。



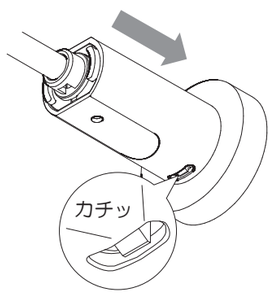
台座ソケットをホースガイドにあてがい、同梱のビスを使用して、壁面に取り付けたソケットと固定します。

③

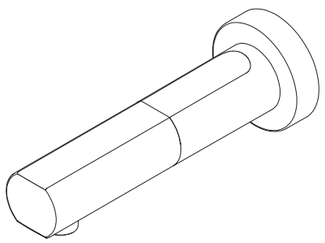


ツバ部のリブを利用して水平出しを行ってください。
水平出しが完了したら、壁とホースガイドの間にある発泡パッキンがきちんと圧縮されるまでビスを締め込んでください。

④



台座ケースを台座側に押し込みます。
この時、台座ケースの穴に台座ソケットのツメが入り、カチッと音がすることを確認してください。



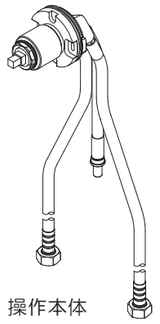
最後に吐水ヘッドを台座に差し込めば吐水本体の取り付け作業は完了です。

通水確認の際、吐水が斜めになっていたら、台座ケースを外し、③からやり直してください。

⚠ ビスの締め込みすぎに注意してください。水栓本体が傾いたり、部品の破損、漏水の恐れがあります。

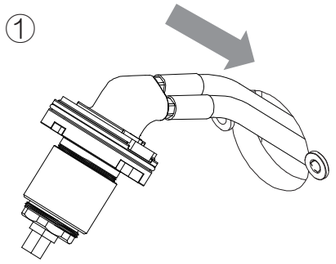
操作本体の取り付け方

⚠ 取付穴の右に施工します



を使用します。

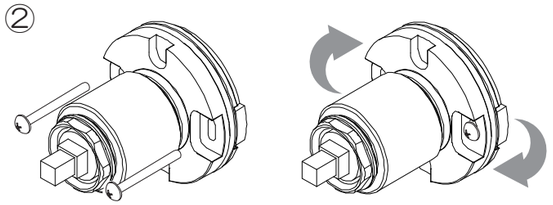
①



取付穴に対し斜め上方向から操作本体を取付穴に入れます。

⚠ 無理に入れるとブレードホースが破損する恐れがあります。

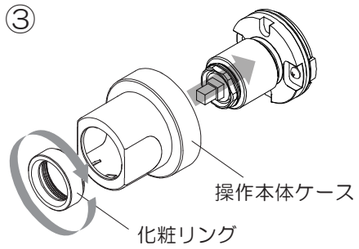
②



操作本体と壁裏の馬蹄金具をビスで固定します。
軽く締め込んだ後、水平になるように調整し、壁と操作本体の間にある発泡パッキンが潰れるまで本締めをしてください。

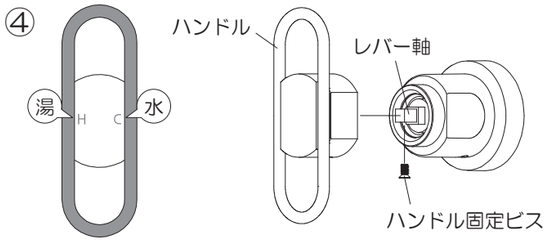
⚠ ビスの締め込みすぎに注意してください。
水栓本体が傾いたり、部品の破損、漏水の恐れがあります。

③



操作本体ケースをロットシールを下になるよう操作本体に押し込むように取り付け、化粧リングを緩みが無いよう確実に締め込みます。

④



ハンドルをレバー軸に止まるまで差し込み（ハンドルの湯水表示の左右を間違えないように気を付けてください）、ハンドル固定ビスをプラスドライバーで締め込みます。
最後にハンドルが簡単に外れないことを確認してください。

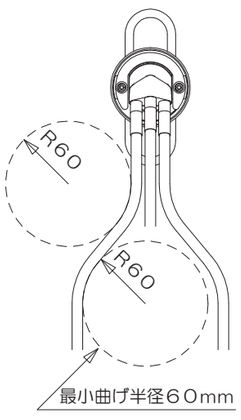
配管への接続



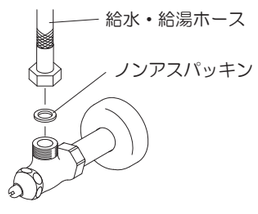
を使用します。

給水・給湯ホースと止水栓の接続

給水・給湯ホースは大きな曲げ半径（最小曲げ半径60mm以上）で曲げ、止水栓へ接続してください。



- 給水ホースと止水栓の間には、付属のノンアスパッキンを必ず入れて下さい。
- ノンアスパッキンの取り付けは、取り付け面が平滑でないと漏水の原因になります。平滑でないものは絶対に使用しないで下さい。また、テーパネジへの接続もしないで下さい。
- ホースと止水栓の締付けは、手でいっぱい締め付けた後、モンキーレンチ等で60度程度締め付けてください。（適正トルク：19．6N・m）



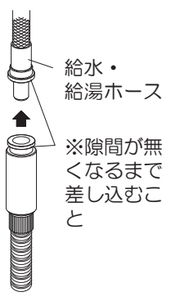
シングルレバー本体とシャワーホースの接続

※ジョイントブッシュと接続金具の隙間が無いことを確認してからクイックファスナーを差し込みます。
ファスナー止めの溝(下側)をクイックファスナーの端に確実にはめ込んでください。

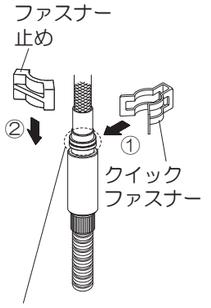
①



②

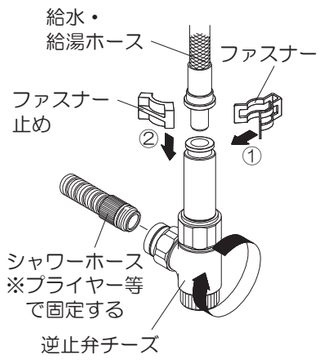


③

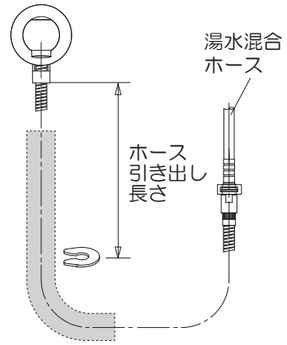


※この部分を挟むようにクイックファスナーを取り付ける

寒冷地形



抜け止めリングの取り付け



吐水ヘッドを引き出しすぎると湯水混合ホースが折れる恐れがあります。
抜け止めリングを使用してホース引き出しに制限を付けてください。

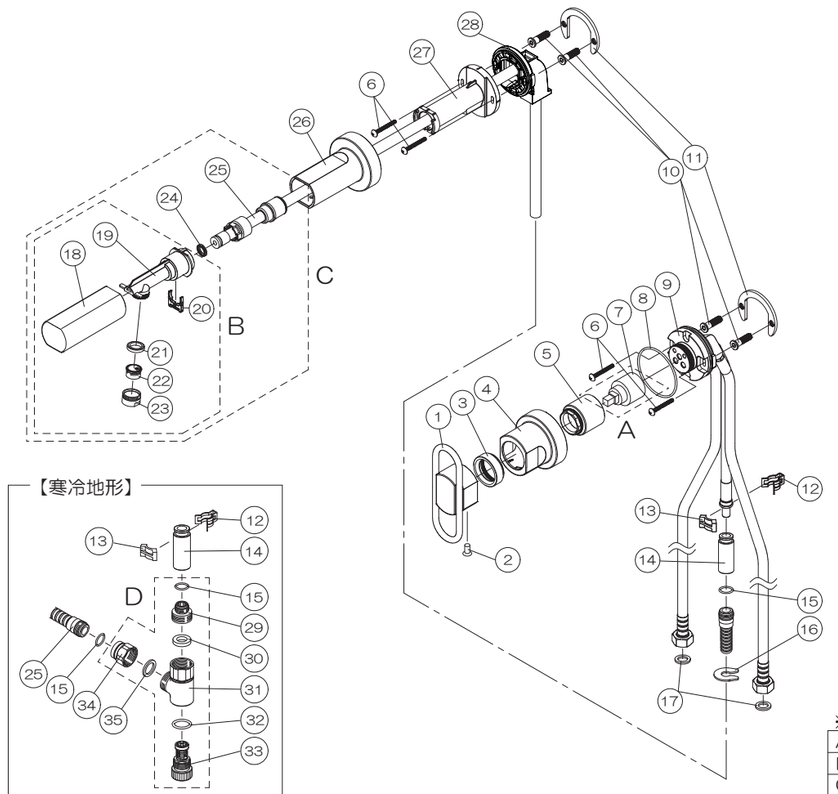
※ホースを引き出したときに吐水ヘッドがシンクからはみ出さない位置で取り付けると、使用時の事故を防ぐことができます。

施工後の通水テストにて吐水量、温度調節に不具合があった場合、以下を参考に解決してください。

点検項目

異常な状態	点検・調整
吐水量が少ない	・止水栓が閉まりすぎていないか、ドライバー等で調整する。 ・泡沫内芯、水板にゴミが詰まっていないか。（分解図参照）
高温あるいは低温しか出ない	・給水、給湯源に異常はないか。 ・熱源が正常に作動しているかどうかを確認する。また、給水圧力に大幅な変化がないか確認する。

分 解 図



①	ハンドル
②	M5小頭皿ビス
③	化粧リング
④	本体ケース
⑤	締付カバー
⑥	M4トラスビス
⑦	カートリッジ・35ECO
⑧	Oリング・JASO2067
⑨	本体
⑩	壁面取付ソケット
⑪	馬蹄金具
⑫	クイックファスナー・10
⑬	ファスナー止め
⑭	615用アダプター（逆止弁有）
⑮	Oリング・S14
⑯	645S用抜止メリング
⑰	ノンアスパッキン・φ18.5×φ12×2
⑱	ヘッドケース
⑲	吐水ソケット
⑳	クリップ
㉑	泡沫パッキン
㉒	泡沫内芯
㉓	泡沫ソケット
㉔	Xリング
㉕	シャワーホース・597
㉖	台座ケース
㉗	台座ソケット
㉘	ホースガイド
㉙	アダプター（W16→M23）
㉚	ホースパッキン
㉛	逆止弁チーズ
㉜	Oリング・JASO1018
㉝	ドレンソケット
㉞	アダプター（M23→W16）
㉟	平パッキン

※アフターパーツセット

A	カートリッジ・35ECO・AS
B	シャワーヘッド・597・AS
C	シャワーホースセット・597・AS
D	逆止弁チーズ・630M・AS

MLZ597MME
MLZ597MMDAHE
壁面穴開け用型紙

929578(0)

この施工用型紙は、ＭＬＺ５９７ＭＭＥ及び
ＭＬＺ５９７ＭＭＤＡＨＥの施工をする際、
取り付け用の穴を開けるために使用します。
使用されるときは、本紙に記載された手順
に従って壁面に穴開け加工を行ってください。

※操作本体用と吐水本体用で壁面に２ヵ所
　穴開けが必要です。
※穴形状及び寸法は２ヵ所とも同じです。
※本紙を使用すると幅 200mm の穴開け
　加工が可能です。
※取り付け幅を変更するときは、本紙の
　穴開けの箇所を使用して調整しながら
　行ってください。

**本製品を施工されるときは、
同梱の施工説明書に従って
正しく施工してください。**

取り付け幅　２００mm

Φ４８

Φ９×２ヵ所

水平方向中心線

吐水本体用

操作本体用

水平方向中心線

垂直方向中心線

垂直方向中心線（吐水本体）

垂直方向中心線操作本体）

間隔　５５mm

〈施工手順〉

１．水栓の施工寸法に合わせて、
　　穴開けを行う壁面に「けがき」
　　を行ってください。
２．けがきの水平と本紙の水平
　　方向の点線を合わせてください。
３．けがきの垂直と本紙の垂直
　　方向の点線を合わせてください。
４．下図の順番で穴開け加工を行っ
　　てください。
※　操作本体と吐水本体の２ヵ所
　　穴開けが必要です。

